

腎臓病療養指導士に関するアンケート調査
【看護師】

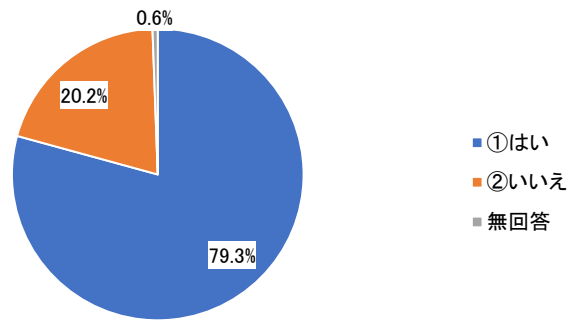
集計報告書

2021年6月16日

次のいずれかに○をしてください。

問1. 勤務先施設はCKD療養指導(糖尿病透析予防外来を含む)を行っていますか？

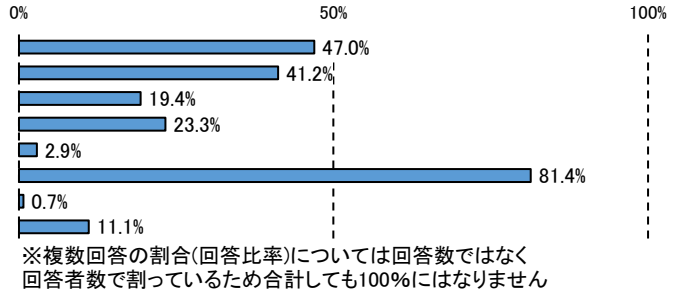
	回答	比率
①はい	279	79.3%
②いいえ	71	20.2%
無回答	2	0.6%
合計	352	



①はいの施設にご勤務の方にお聞きします。②いいえの方は問10までご移動下さい。

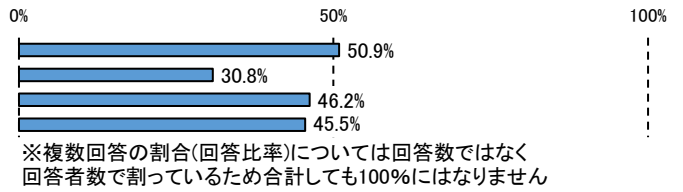
問2. CKD療養指導に携わっている資格保有者を教えてください

	回答	比率
慢性腎臓病療養指導看護師	131	47.0%
糖尿病療養指導士	115	41.2%
糖尿病看護認定看護師	54	19.4%
透析看護認定看護師または腎不全看護認定看護師	65	23.3%
腎領域の慢性疾患看護専門看護師	8	2.9%
腎臓病療養指導士	227	81.4%
高血圧療養指導士	2	0.7%
その他	31	11.1%
合計回答者数	279	
合計回答数	633	



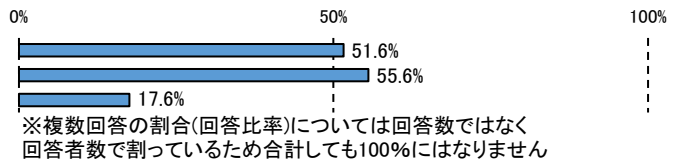
問3. CKD療養指導で行う患者指導のための教材は何ですか？

	回答	比率
腎臓病用量指導士の研修テキスト	142	50.9%
腎不全看護第5版(腎不全看護学会編集)	86	30.8%
患者さんとご家族のためのCKD療養ガイド2018(日本腎臓学会編集)	129	46.2%
その他	127	45.5%
合計回答者数	279	
合計回答数	484	



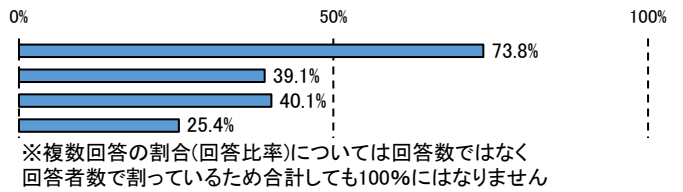
問4. 患者や家族へ配布する資料はどういったものですか？

	回答	比率
自施設で独自に作成したもの	144	51.6%
業者が作成したもの	155	55.6%
その他	49	17.6%
合計回答者数	279	
合計回答数	348	



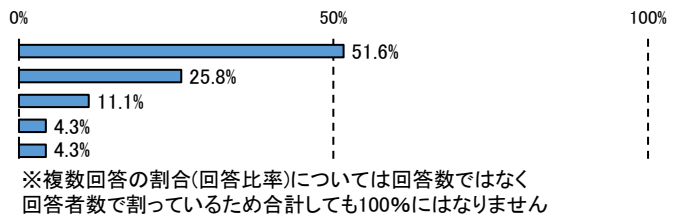
問5. CKD療養指導はどのような場で行っていますか？

	回答	比率
看護外来	206	73.8%
教育入院	109	39.1%
腎臓病教室	112	40.1%
その他	71	25.4%
合計回答者数	279	
合計回答数	498	



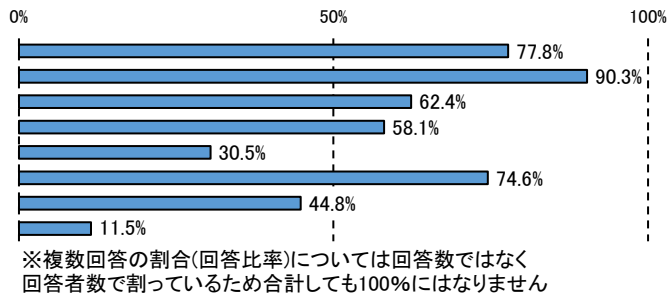
問6. CKD療養指導を患者自らが希望する割合を教えてください。

	回答	比率
10%未満	144	51.6%
10%以上～30%未満	72	25.8%
30%以上～50%未満	31	11.1%
50%以上～80%未満	12	4.3%
80%以上～100%	12	4.3%
合計回答者数	279	
合計回答数	271	



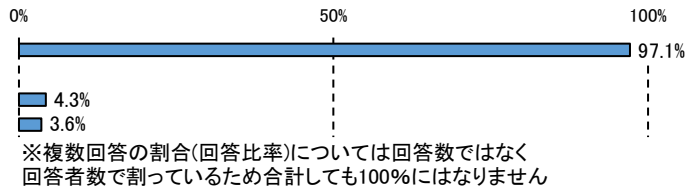
問7. 看護外来で実践している項目をお教えてください

	回答	比率
CKDステージ別の療養生活指導	217	77.8%
腎代替療法の情報提供	252	90.3%
意思決定支援・倫理調整	174	62.4%
家族支援	162	58.1%
地域連携	85	30.5%
食事指導	208	74.6%
運動指導	125	44.8%
その他	32	11.5%
合計回答者数	279	
合計回答数	1,255	



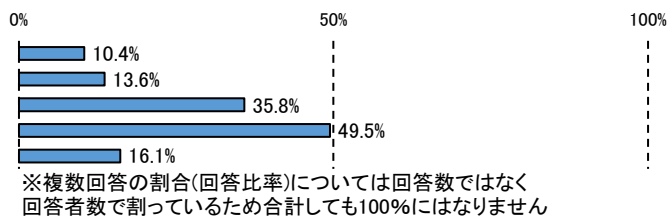
問8. 看護外来の支援方法についてお教えてください。

	回答	比率
直接面談	271	97.1%
オンライン面談	0	0.0%
電話	12	4.3%
その他	10	3.6%
合計回答者数	279	
合計回答数	293	



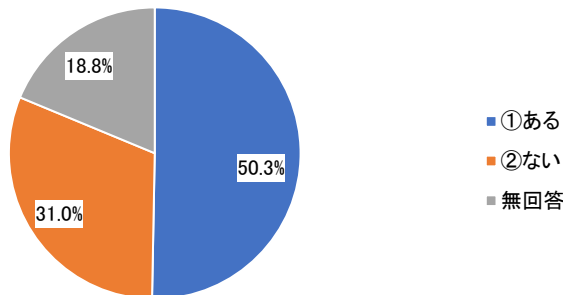
問9. 1回の面談時間はどのくらいですか？

	回答	比率
10分未満	29	10.4%
20分未満	38	13.6%
30分未満	100	35.8%
60分未満	138	49.5%
60分以上	45	16.1%
合計回答者数	279	
合計回答数	350	



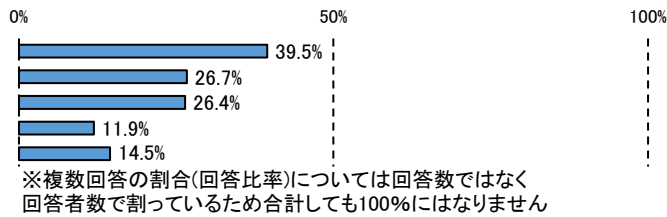
問10. CKD療養指導の中で診療報酬を算定している項目はありますか？

	回答	比率
①ある	177	50.3%
②ない	109	31.0%
無回答	66	18.8%
合計	352	



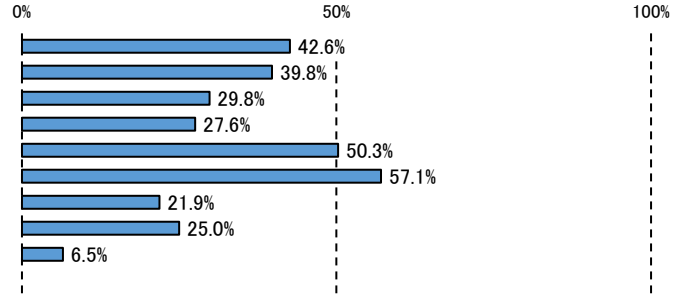
問11. CKD教育の管理はどこが行っていますか？

	回答	比率
看護部	139	39.5%
専門診療科	94	26.7%
腎臓病サポートチーム	93	26.4%
糖尿病サポートチーム	42	11.9%
その他	51	14.5%
合計回答者数	352	
合計回答数	419	



問12. CKD療養指導を継続して実施するうえでの課題は何ですか？

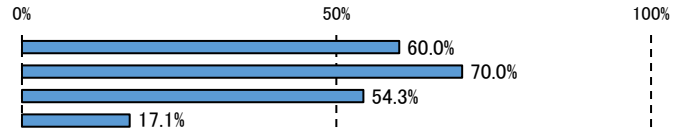
	回答	比率
診療報酬での評価がない	150	42.6%
他職種との連携	140	39.8%
看護師間の連携	105	29.8%
病院や医師の方針	97	27.6%
場所や時間の確保	177	50.3%
人員不足	201	57.1%
能力不足	77	21.9%
学習機会の不足	88	25.0%
その他	23	6.5%
課題はない	0	0.0%
合計回答者数	352	
合計回答数	1,058	



※複数回答の割合(回答比率)については回答数ではなく回答者数で割っているため合計しても100%にはなりません

他職種との連携

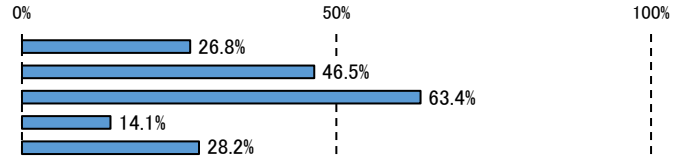
	回答	比率
医師	84	60.0%
薬剤師	98	70.0%
管理栄養士	76	54.3%
その他	24	17.1%
合計回答者数	140	
合計回答数	282	



※複数回答の割合(回答比率)については回答数ではなく回答者数で割っているため合計しても100%にはなりません

CKD 教育を実施していない施設にご勤務の方にお聞きます。
問13. CKD教育が開催できない理由をお答えください

	回答	比率
医師の判断	19	26.8%
マンパワー不足	33	46.5%
体制不足	45	63.4%
実践できる資格保有者がいない	10	14.1%
その他	20	28.2%
合計回答者数	71	
合計回答数	127	

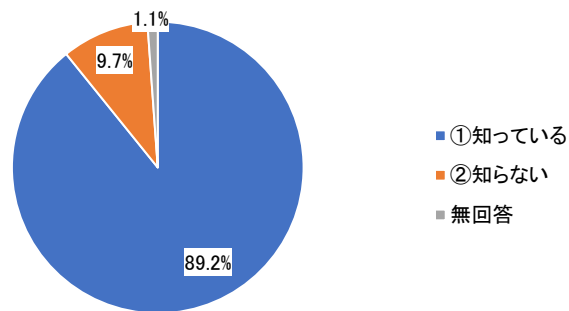


※複数回答の割合(回答比率)については回答数ではなく回答者数で割っているため合計しても100%にはなりません

以下、皆さまお答えください。

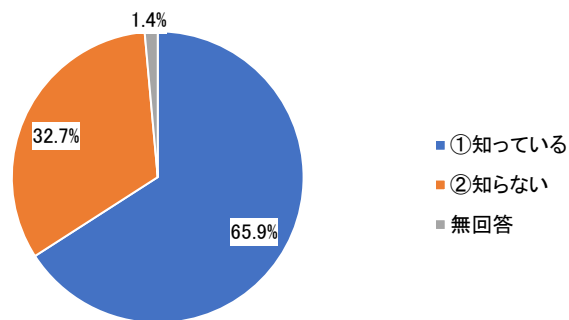
問14. 腎臓病療養指導士の存在を施設長や上司は知っていますか？

	回答	比率
①知っている	314	89.2%
②知らない	34	9.7%
無回答	4	1.1%
合計	352	



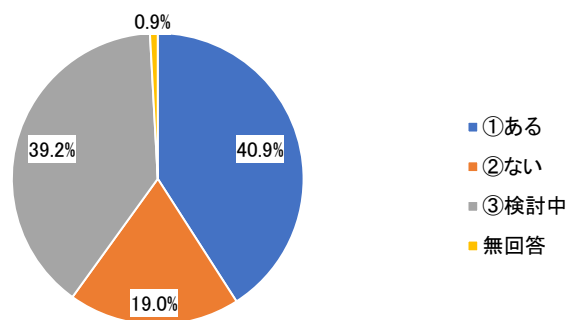
問15. 腎臓病療養指導士の役割を施設長や上司は知っていますか？

	回答	比率
①知っている	232	65.9%
②知らない	115	32.7%
無回答	5	1.4%
合計	352	



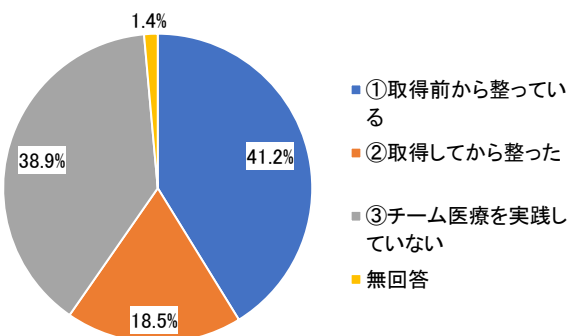
問16. 今後、腎臓病療養指導士を増やしていく予定はありますか？

	回答	比率
①ある	144	40.9%
②ない	67	19.0%
③検討中	138	39.2%
無回答	3	0.9%
合計	352	



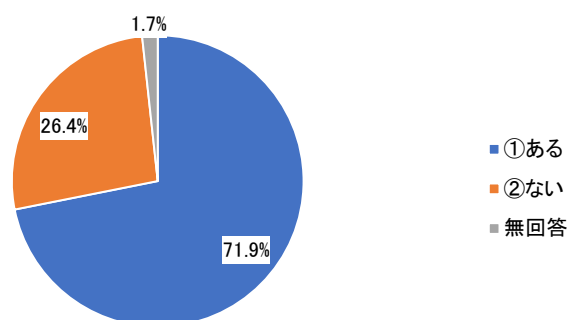
問17. 腎臓病療養指導士を取得してCKDチーム医療体制が整いましたか？(いずれかに○を)

	回答	比率
①取得前から整っている	145	41.2%
②取得してから整った	65	18.5%
③チーム医療を実践していない	137	38.9%
無回答	5	1.4%
合計	352	



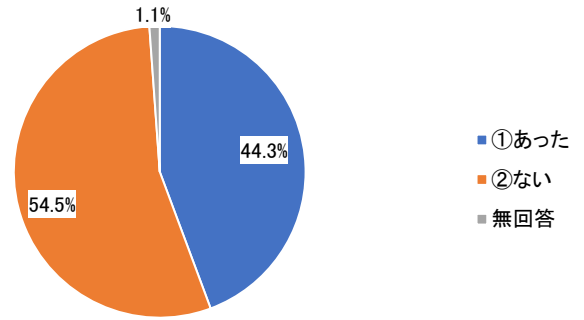
問18. 腎臓病療養指導士を取得して自身のCKD看護に変化ありましたか？

	回答	比率
①ある	253	71.9%
②ない	93	26.4%
無回答	6	1.7%
合計	352	



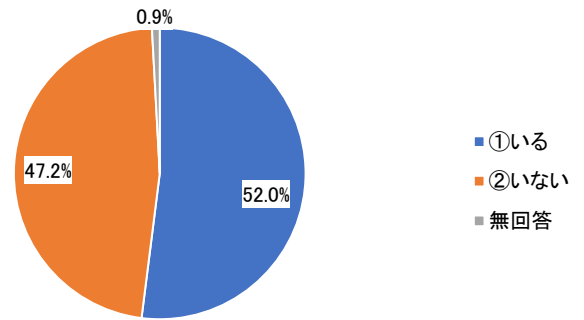
問19. 腎臓病療養指導士を取得し周囲の反応に変化はありましたか？

	回答	比率
①あった	156	44.3%
②ない	192	54.5%
無回答	4	1.1%
合計	352	



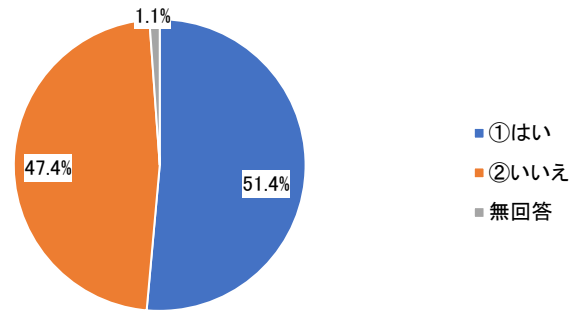
問20. あなたが腎臓病療養指導士を取得して周囲で取得したいと希望する人はいましたか？

	回答	比率
①いる	183	52.0%
②いない	166	47.2%
無回答	3	0.9%
合計	352	



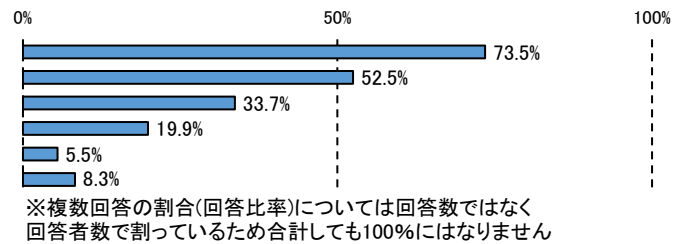
問21. 腎臓病療養指導士を取得して、他の腎臓病療養指導士と連携や情報提供、相談をすることはありますか？

	回答	比率
①はい	181	51.4%
②いいえ	167	47.4%
無回答	4	1.1%
合計	352	



問22. 「はい」の場合、どの腎臓病療養指導士と連携していますか？

	回答	比率
看護師(院内)	133	73.5%
管理栄養士(院内)	95	52.5%
薬剤師(院内)	61	33.7%
看護師(院外)	36	19.9%
管理栄養士(院外)	10	5.5%
薬剤師(院外)	15	8.3%
合計回答者数	181	
合計回答数	350	



腎臓病療養指導士を取得して自身のCKD看護に変化ありましたか？【ある場合】

番号	施設名	ご意見
1	島津クリニック	具体的に指導はしていないが、HDしている人に関わる中で役立っている
2	信楽園病院	腎療法選択支援のチームが発足し、患者指導が充実してきた。
3	公財)浅香山病院	目標が明確になった。他者への説明が容易となり、自信をもってCKD看護を進めることができる。
4	関西ろうさい病院	意志決定支援に力を入れるようになった。
5	クリニック	病態のアセスメントができるようになってきた。透析に至るまでの管理に、興味が深くなり、介入しやすくなった。
6	関西医大附属病院	意志決定を重視し、患者が納得して、治療を選択できるように、サポートしている
7	関西医大附属病院	得た知識をお伝えし、患者を取りまく、様々な環境をお話し、患者と共に考えるようにしています。(SDMを意識して)
8	済生会松山病院	腎症に影響のある薬をチェックするよう変化した
9	津田クリニック	より詳しく、患者さんにCKDの知識や今後の事などお伝えする事ができています。
10	岡崎市民病院	腎臓に対して苦手意識が強かったが、以前より患者さんに話す内容が増えた。
11	にしかげ内科クリニック	さらに専門性が自覚し、クリニック全体での取り組みを向上させるよう努めるようになった。
12	市立長浜病院	各ステージの指導に役立っている。細かい部分の質問に答えられるようになった。
13	大分内分分泌糖尿病内科クリニック	以前よりCKDについては患者さんへ説明していましたが指導士を取得してからはよりわかりやすくより深く指導するよう努力しています。
14	奈良県西和医療センター	自信を持って指導できるようになった
15	増子記念病院	保存期の患者さんに関わる機会が多くなり 腎キノウを維持するためには、どうするべきかどう介入すべきか考える事が増えた。又、患者自信が納得して治療を選択できる様な支援を積極的に行う様になった
16	川崎幸クリニック	糖尿病外来においてCKDに着目するようになった。また他のスタッフにCKD看護について伝達できるようになった。
17	医)清永会 矢吹病院	保存期での思いや管理方法を患者と共有しながら導入時期に関わりをもてる。
18	厚生中央病院	食事内容、薬剤について可能な範囲で話をしている
19	済生会横浜市東部病院	糖尿病のことだけでなく、腎症と言う合併症についての指導もできるようになった。
20	JAとりで総合医療センター	Ptの対応に基本から介入できた。
21	三郷中央総合病院	透析室で仕事をしているが、血漿透析導入後も、療養選択ができるようになった事。CKD外来で、予防として患者さまと面談できる時間が時折ある。
22	昭和大学横浜市北部病院	腎臓病をより詳しく理解できた。予備群に対して、より教育や関わりが必要であると思えた。
23	医療法人社団 にれの杜クリニック	指導に自身をもってできるようになった 他職種の指導もおこなうようになった
24	松山医院大分腎臓内科	ステージ別に応じて具体的な患者指導を行える様になった
25	JCHO四日市羽津医療センター	保存期に対する指導の幅がひろがった
26	大同病院	よく話を聞く。時間をかけるようになった。
27	回生会 宝塚病院	より専門性を高めようと思い自己学習や、今後のCKD課題が見えてきたように感じる
28	公立西知多総合病院	知識が深まった。
29	名古屋第二赤十字病院	PRT選択療法も含め、患者さんが興味を持つ発言があった。
30	さくら記念病院	意志決定支援の重要性の再認識
31	医療法人 一陽会 イーストクリニック	・自信がついた。・CKDチームをつくった。
32	高知高須病院	ステージ別に患者対応することができ、必要な情報を、適切な時期に提供できるようになったと思う。
33	医療法人名南会名南病院	検査結果が気になる。同時に使用している薬剤チェックなど興味↑し、チームで一人のPtへの記録もされるようになった
34	公益社団法人有隣厚生会富士病院	患者にあわせた指導をできるようになった。
35	老人施設(以前 長岡中央総合病院)	患者に対して、根拠をもった指導ができ、話もきちんと聴けるようになった。
36	光風会 光南病院	CKDに対するスキルupで患者様への指導は、エビデンスを話すことで患者の理度もupしている。
37	JA愛知厚生連江南厚生病院	個別性を考えて専門知識を提供出来るようになった。
38	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院	知識や役割の必要性を理解できた。しかし、協力体制がとれておらず実際の活動が始められずチーム医療ができていない。後輩の知識の習得に協力していることとどまっている。
39	山梨県立中央病院	DM患者への指導へ役立っていることができる
40	日本大学板橋病院	外来看護師(内科だけだが)が、ほとんど取得しているため。かなり指導の意欲が上がった。
41	おもろまちメディカルセンター	保存期CKD患者の指導を行うことができた
42	東海大学医学部付属病院	今まで漠然とした生活指導になっていたが、より具体的に、Ptに合わせた生活指導ができるようになった。
43	北美原クリニック	透析クリニック勤務しているが、CKD外来を開設した際に資格を取得し透析導入前より患者様と関わる機会が増え、スムーズな透析導入ができ、その家族との連携もできやすくなった。
44	NTT東日本札幌病院	具体的に説明、指導できるようになった。
45	長岡赤十字病院	取得前は透析導入後の患者の看護が中心であったが、保存期からの関わり的重要性を感じ、腎臓病教室や療法選択のあり方について考えるようになった。
46	(医)一陽会 原田病院	栄養面、薬剤のことなど以前より深く知りたいと思っていた
47	JAとりで総合医療センター	検査結果や症状をみて、患者さんへの指導ができるようになりました。
48	特定医療法人 光晴会病院	患者さんと積極的に関わられるようになった。他職種との連携がとりやすくなった。
49	今村総合病院	・腎保護について、早い時期から知識の情報提供が必要で介入するようになった ・腎代替療法の正しい情報提供が大事で、ていねいに関わるよう心がけるようになった
50	興生総合病院	治療選択についてもっと情報提供すべきである
51	近江八幡市立総合医療センター	私は病棟ナースですが、外来ナースの腎臓病療養指導士と一緒に連けいを図かるモチベーションになった。以前は認定看護師が1人しかいないため外来ナースに遠慮していた。
52	清瀬博濟堂クリニック	各ステージ及び血液透析移行後の看護に、根拠付けができるようになった
53	天童温泉矢吹クリニック	血液透析を導入した患者が導入前と後の自己管理方法の違いを混乱してることが多く、その違いの説明をこれまで以上に丁寧に説明出来るようになった。

腎臓病療養指導士を取得して自身のCKD看護に変化ありましたか？【ある場合】

番号	施設名	ご意見
54	門真クリニックあいわ診療所	腎臓病外来の担当医と患者さんについて議論する機会が増えた。
55	よこた内科クリニック	糖尿病の患者さんに腎臓について、くわしく指導できるようになった。腎について勉強することが増えた
56	NTT東日本札幌病院	より具体的、行動レベルで患者の生活に合わせて活かせる指導ができるようになった。腎代替療法選択指導をすることで、患者だけでなくその家族にも人生や生活の一部となることを改めて感じた。
57	焼津市立総合病院	末期腎不全だけでなく、よりCKDステージを考慮した支援を行うことができた。
58	はしもとじんクリニック	知識を元に根拠に基いて説明できる。
59	せりざわクリニック	より専門的な意識がでてきた。
60	大同病院	医師やCKDチームのスタッフ内での信頼が深まった。
61	三愛病院付属矢巾クリニック	自信を持って患者へ情報提供ができるようになった。
62	岡山大学病院	知識がふえて指導もより具体的にできるようになった
63	(株)日立製作所 日立総合病院	より具体的に患者に介入できる。さらに資格があることで、自信につながる。
64	社会医療法人白光会 白石病院	2020年に資格を取得後、CKDチームがつくられ、継続して療養指導を行えるようにと活動が始まった。
65	香川大学医学部付属病院	腎臓内科での勤務ではないが、合併症などでCKD患者がいる場合は、CKDに対する認識や、日常生活についてなど聞くようにしている。
66	真生会富山病院	専門性を追求する資格取得することにより、モチベーションアップにつながった。課題は加算がないため、病院に評価されない。
67	医療法人仁栄会 島津病院	知識を増やす事で、患者支援をスムーズに行えるようになった。HD導入が増加してる現状で、自分が少しでもCKD患者様の行動変容に携わっているかもしれないという意識が高まった。
68	成田記念病院	より指導内容に自信がついた。
69	埼玉医科大学総合医療センター	CKDで入院している患者に今までより多くの事を指導したり、アドバイス出来るようになった。CKDに対してさらに興味がでてきた。
70	日高病院	とにかく、ステージVにする前に少しでも腎●●が下がらないように関わりたいと感じている
71	武内病院	透析予備軍の方々に、具体的な説明ができるようになった。
72	島津病院	取得前より、患者指導を行っていたが、取得したことにより外来勤務時にCKD担当Nsの役割ができ、周囲のスタッフからも相談をうけるようになった
73	笠岡第一病院	透析導入にあたり、保存期からの関わりが重要だと思いました。
74	医療法人 行橋クリニック	資格保持者として対応できる
75	松本市立病院	自己の役割を認識でき、活動できるようになった
76	静岡済生会総合病院	保存期管理の必要性を指導できるようになった
77	横須賀共済病院	知識が具体的にになった。家族同様、患者の理解者であり、味方でありたいと考えるようになった。
78	長野中央病院	ステージにあわせて指導や治療への意見ができる
79	富山県立大学	臨床にいた時は薬剤に関する指導などが増えた
80	松本市立病院	より具体的に、分かりやすく個々の受け止め方に応じた説明を心がけるようになった
81	愛仁会井上病院	療法選択説明の家族看護や意思決定支援
82	京都岡本記念病院	自信をもてた
83	広島大学病院	個別的な患者教育とスタッフ教育を行なっている
84	高松赤十字病院	後輩の育成
85	横須賀市立うわまち病院	知識が深まったので、患者への指導内容が広がった。より詳しく説明できるようになった。
86	厚南セントヒル病院	看護師、薬剤師、栄養士、その他多職種連携し、より専門性の高い情報を患者家族へ提供することを、より意識するようになった
87	医療法人佳信会 桜セントラルクリニック	患者指導に活かせる
88	関西医科大学総合医療センター	視点が広がった
89	新生会第一病院	知識が増えたことで、指導のタイミング、指導方法、必要な指導項目がわかるようになり、当院独自の「CKD患者への支援」を再構築することができた。(腎臓診療の歴史ある病院だが、内容がしばらく更新されていなかった)
90	医療法人坂口クリニック	透析を担当している。患者指導に知識が活かされている
91	日高病院	より具体的に指導が行えるようになった。
92	医療法人社団 さとに田園クリニック	取得前までは、透析看護が中心であったが保存期指導介入の大切さが理解でき実践することができた。CKD保存期指導を行うことで実際に透析導入を回避したり遅らせることができた症例があった。
93	医療法人 入澤泌尿器科内科クリニック	いかに透析に入らないようにするか、少しでも遠ざける事ができるか、透析を受けている患者の気持ちを知っているため、それを踏まえて深められたように思う。
94	広島赤十字・原爆病院	自分自身が、腎代替療法について詳しく学ぶことが出来た。また、実践にも役立つことが出来ている。
95	聖マリアンナ医科大学病院	より積極的に患者さんと関わりを持つことが出来るようになった
96	新生会第一病院	腎代替療法の情報提供を早期から行う
97	とうめい綾瀬腎クリニック	透析にならないための指導や透析が近づいて来た時の指導をすることで、その人の生き方、考え方が変わると思っているため、まずは自分が知識をつけて、その患者に最善の方法を提供できるようにするために資格をとり、勉強を続けることは大切だと思っている
98	国立病院機構大阪医療センター	もっとCKDチーム医療や腎臓病療養指導士の認知度を上げたいと考えるようになった。
99	津島市民病院	腎不全合併患者の薬物療法に寄与することができるようになった。
100	東京慈恵会医科大学附属柏病院	内科外来からの指導の依頼や勉強会の依頼が増えた
101	医療法人 小田内科クリニック	患者のステージを理解して具体的に関わることができる。
102	医療法人光晴会病院	指導の仕方が前より具体的になった
103	南三陸病院	保健指導に興味が出た。
104	熊本赤十字病院	療法選択時での生活指導などに役に立つ様になった
105	松山赤十字病院	具体的内容で指導できるようになった。
106	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	CKDチーム医療活動導入への意欲が増し、周囲に啓蒙活動を行っている

腎臓病療養指導士を取得して自身のCKD看護に変化ありましたか？【ある場合】

番号	施設名	ご意見
107	医療法人 医生ヶ丘クリニック	透析室の患者家族のCKDの相談や、外来に出た際には積極的に関わられるようになった。ただ、時間的には少ないので目に見える成果と言うのはないに等しいです。点数が取れるなど、病院にメリットがあれば小規模の施設でも活躍の場が作りやすいとおもいます。
108	福岡大学病院	意思決定支援に深く関わるようになった
109	伊那中央病院	保存期患者の看護指導を時間かけて行いたい。コロナの影響で、CKD教育に関するセミナーなどが開催できないので、個別指導が中心
110	川崎市立多摩病院	視野が広がった
111	医療法人 埼玉会 埼玉草加病院	チームの調整役である看護師の役割を踏まえた実践と、患者様には個別的な情報提供、指導さらにACPIに基づいた支援が目標となった
112	長野市民病院	より役割を明確に自覚した
113	原口内科・腎クリニック	積極的に患者に関わるようになった
114	虎の門病院分院	チーム医療ができる
115	聖フランシスコ病院	最近の情報や指導内容を再確認できた
116	社会福祉法人京都社会事業財団西陣病院	療養選択がスムーズに行えるよう、環境を整え他職種で連携しながらサポートしています。
117	県立宮崎病院	入院中だけでなく、退院後の生活を整える必要があること
118	石川県済生会金沢病院	8か月前に始動したところです。チームを作る事、その中で医師とのやり取りや透析療法部との兼務、中心となってやらなければならない不安と責務が大きくなりました。透析前の介入が出来、難しさはありますが、疾患抑制やスムーズな導入が出来るのではないかと期待を持ち関わっています。
119	奈良県西和医療センター	指導内容が変わった
120	新生会第一病院	資格取得後は透析看護が主であった。取得後は患者の初診から導入、維持透析と全体がわかるようになり、患者に自分の中の経験や学びを活かせ、情報提供しやすくなった。
121	杏林大学医学部付属病院	ステージ別に細かい対応が必要であると感じた。また、チームでの質を高めるために働きかけをすることが大切であると考えようになった。
122	高槻赤十字病院	意思決定支援についてより考えるようになり、責任を持って療養支援に関わって行かないといけないと感じている。
123	日本大学医学部附属板橋病院	学会に参加したり自己学習することでスキルアップに繋がり、また知識を高めたことで患者さんに情報提供できるようになった。
124	大隅鹿屋病院	指導内容に具体的目標を持てるようになった
125	公立大学法人 横浜国立大学附属病院	積極的に患者に関わるようになった
126	東邦大学医療センター大橋病院	正しい知識に基づいて幅広い指導ができています。加算をとれる看護師の業務として院内でも認められる。
127	修腎会 藤崎病院	早いステージから関わるようになった
128	岐阜市民病院	生活習慣や高齢化に伴い、腎臓病の罹患がおおくなっており、予防が重要であること、指導をしていく機会が増えてきている
129	東京女子医大病院	具体的な指導方法を考える
130	春日井市民病院	療法選択外来で適切なSD Mが提供できるようになった
131	那覇市立病院	CKD教育入院に関する指導内容やパス、スタッフへの指導など、積極的に関わるようになったと思う。
132	香川大学医学部附属病院	腎臓病療養指導士の資格だけでは、管理料の算定に繋がらないこともあり、不十分と考え、日本糖尿病療養指導士を取得し、看護協会のフットケア研修も受講した。その結果、積極的に患者との関わりができるようになった。
133	市立大津市民病院	研修で学んだことを活かしている。他のスタッフからの質問が増加した。
134	松山赤十字病院	対象の抱えている背景まで深く把握し関わるようになった。その上で、長期的に継続できるような生活指導に取り組むよう心がけるようになった。
135	金沢大学附属病院	取得以前は教育入院の患者への指導のみであったが、取得後、腎臓病教室が開催されて外来患者への指導や腎代替療法選択指導外来も行うようになり、よりCKD患者への看護が深まったと考える。
136	新座志木中央総合病院	医師の診察時間内では充分時間がとれず、患者層も高齢であるため、早い段階で看護介入し、他職種と連携し、家族を含めた支援が必要であり、生活の基盤をMSWなどと連携して整えていく事が必要。腎代替療法や意思決定、治療の受容など、患者や家族の気持ちを聞き、不安を払拭できるよう努めることの大切さを感じた。
137	大森赤十字病院	保存期に対する知識が深まった。以前は、指導することに躊躇するところがあったが、予後や長期的なQOLの向上には、患者のペースを尊重しながらも伝えるべきことを伝えなくてはならないと感じるようになった。
138	きじ内科クリニック	CKD保存期の期間をいかに長く維持することで、結果透析になる時期をのばせるので、教育指導がとても重要なことを実感しました。
139	市立芦別病院	専門的知識で具体的に指導出来るようになった。
140	愛知医科大学病院	知識が増えた。
141	福島県立医科大学	具体的
142	医療法人 青仁会 池田病院	患者や家族への関わり方、説明の仕方に自信をもってできるようになった
143	聖マリアンナ医科大学病院	患者のステージにより沿った指導が可能になった
144	松下記念病院	CKD教育入院を開始するにあたり栄養士、薬剤師、検査技師、医師など多職種で教育に関わるようにした。
145	名古屋大学医学部附属病院	患者をステージ別で、適切な指導介入ができる
146	聖隷佐倉市民病院	当院の6人の腎臓病療養指導士と連携をとり、月に一度ワーキンググループを行い他職種と情報交換を行えるようになった
147	済生会横浜市南部病院	腎代替療法治療選択外来で、看護師の説明内容や必要項目など明確にすることにつながった。
148	筑波学園病院	外来で個別的に細かな指導ができた。責任感が高まり学習意欲が向上した。

腎臓病療養指導士を取得して自身のCKD看護に変化ありましたか？【ある場合】

番号	施設名	ご意見
149	宇多津病院	保存期の深い学びから、腎不全看護学会で、発表する事が出来ました。
150	増子記念病院	知識のもとに、患者、家族への指導へ結びつけることが出来る。
151	新潟県佐渡総合病院	腎不全の食事指導や生活指導を考えることができるようになった。
152	富山市立富山市民病院	他職種連携の重要性
153	筑西腎クリニック	意思決定の在り方や支援の方法について積極的に学ぶ事が多くなった。
154	一陽会イーストクリニック	療養支援を行う機会が増えた
155	聖マリアンナ医科大学病院	外部との意見交換ができる機会が増えた。情報共有でき見直しにもつなげられる。
156	JCHO仙台病院	より具体的に患者と今後の生活に対して向き合って支援する事が出来る様になった
157	公立八女総合病院	CKD教育の勉強になった
158	東海大学医学部付属病院	腎不全保存期の指導の大切さ
159	医療法人一陽会	自信や根拠を持って患者に介入できる
160	社会福祉法人 新潟市社会事業協会 信楽園病院	モチベーションが高められた
161	金山クリニック	維持透析になってからも、保存期の食事制限から変えられない人がいるため、具体的に説明できる。
162	ときわ会 日東病院	腎臓病になる前の行動を制限させるためにはどのような関わりをしなければならないか、透析にならないようにするための行動なども理解することが出来、様々な患者さんへの指導が出来るようになりました。
163	福井総合病院	知識を得て資格者として患者と関わることで、看護師として学ぶものが多々あった。
164	大石内科クリニック	透析に、できるだけ移行しないようにするための生活習慣などを詳細に指導できるようにするためのやる気がアップした。
165	おもて内科糖尿病クリニック	療法選択外来の時、保存期に対しての指導ができる
166	医療法人社団スマイル 博愛クリニック	診療報酬への反映をより意識するようになった
167	医療法人 博友会 友愛みぬまクリニック	今後の治療選択のために、透析クリニックへ見学にみえる方がいるが、様々な選択肢について話すようになったと思う
168	たまき腎クリニック	外来患者さんの問題点を考えるようになった
169	淀川キリスト教病院	知識が増えた
170	日産厚生会 玉川病院	仕事内容が腎臓病療養指導士の資格となりより一層、指導者として自覚し身が引きしまった
171	新北九州腎臓クリニック	意欲的に取り組めるようになった
172	藤沢市民病院	知識を深めた事で患者に合わせたより良い指導ができるようになったと思う
173	原三信病院	知識が豊富になった
174	東京医科大学八王子医療センター	よりCKDstageが低い患者と関わる機会が増えた
175	静岡県立総合病院	資格取得時に薬剤についても勉強したので療法選択に活かしている。普段の看護も今まで以上に気に関わっている。
176	みさと健和クリニック	患者に寄り添い指導すること
177	西陣病院	仕事量が増えた
178	松下会 あげぼのクリニック	透析室勤務のため、透析看護を長くやってきました。腎臓病療養指導士を取得してからは、保存期患者さんとの関りをもつことができるようになり、看護の幅が広がりました。自身のモチベーションUpになりました。
179	豊島中央病院	退院後の生活について患者と話し合う機会が増えた。
180	南奈良総合医療センター	知識が充実した
181	鹿児島共済会 南風病院	具体的にどのようなことを指導すれば良いかがわかった
182	たまき腎クリニック	患者さんの内服している薬を視点を持って見るようになった
183	昭和大 横浜市北部病院	多角的な側面から指導できるようになった。
184	犀潟医療センター	行動変容の過程を重視するようになった。
185	大和市立病院	患者のみならず、看護師にも学習会を行い興味を抱いてもらえるよう、努力している。
186	公立八女総合病院	どちらかと言えば後ろ向きの気持ちです。指導をしても成果がわからない。患者も医師から言われたから指導を聞いているだけのような気がします。また、指導をするために自分の持ち場を離れているため、その間は現場は人員不足。そして人員が増えないのに患者は増える一方。スタッフの負担が大きいです。
187	堀ノ内病院	専門外来はないが、腎臓内科での指導ができる
188	富山協立病院	食事内容の聞き取りや処方内容、内服方法など情報収集する際にポイントが分かる。指導する際にも具体的に説明出来るため、患者さんに納得してもらいやすい。医師にも薬の内容について相談しやすい。
189	KKR立川病院	患者の生活や人生歴に興味を持ち、それを踏まえて看護するようになった
190	京都山城総合医療センター	他診療科に配属の時も、関連患者が来院した折にフォローできる。
191	吉祥寺あさひ病院	蓄尿のデータを見るようになった。より良い透析導入又は見合せと一緒に考えるようになった。
192	飯田市立病院	知識の向上 資格を持っているという自信
193	飯田市立病院	正確な知識を得ることができ、またその場が開拓された。
194	医療法人修腎会藤崎病院	医師の指示はもちろん、自発的に腎臓病の療養指導ができるようになった。
195	芳賀赤十字病院	外来指導患者が増えた、透析導入がスムーズになった
196	京都医療センター	看護以外の栄養や薬剤についても知識がついた
197	平成日高クリニック	腎臓内科外来を担当して、時間がある時は診察前の問診で指導を行っている。
198	国家公務員共済組合連合会 立川病院	最新の知見をアップデートするようになった
199	山口赤十字病院	腎不全保存期の方と会う機会が増え、専門的な話をする機会が増えた。代替療法、CKMIについて、ACPやSDMの学習が増えた。
200	さっぽろ内科・腎臓内科クリニック	保存期患者さんへアドバイスができるようになった
201	埼玉医科大学病院	患者との関わりと医師や他職種との連携
202	淀川キリスト教病院	継続して関われる
203	松江赤十字病院	知識が増えた分、患者指導に積極的に関わられるようになった。看護師への指導や勉強会をもっと行う必要があると思う。

腎臓病療養指導士を取得して自身のCKD看護に変化ありましたか？【ある場合】

番号	施設名	ご意見
204	県立広島病院	栄養士や薬剤師に任せきりになっていた部分について、あらかじめ自分から情報収集を行うことで他職種との話し合いなどができるようになった
205	公立学校共済組合 近畿中央病院	腎臓病は生活習慣と密接な関係があり、生活指導が重要だと認識できた。
206	関西医科大学附属病院	病棟で退院時指導に役立つ
207	清和会 南札幌病院	チーム連携の必要性、他科薬剤処方の副作用を理解し、より深く観察指導していくことができた。栄養指導前後、行動変容の評価再プラン提示を考えることが出来た。
208	川口市立医療センター	保存期の知識が深くなった
209	久留米大学病院	積極的に関わることができるようになった
210	医療法人社団登要会スラージュ内科クリニック	塩分やカリウム、薬に対する腎保護効果や悪化する薬に対する理解
211	医療法人 松寿会 天保山内科	指導時、自信を持って対応できた。腎臓について詳しく説明ができ、講演会で腎臓の大切さ等伝えるようになった。
212	血液浄化センター	地域で腎臓病教室啓発
213	大阪市立総合医療センター	地域連携の調整にも重点をおくようになった。
214	大阪みなと中央病院(1月まで。現在無所属)	知識の視野が広がり、指導を含め患者との関わりの中で活かすことができた。
215		患者様に自信を持って指導出来るようになった。
216	田川市立病院	取得前は透析治療が始まってからの関わりしかなくCKDへの理解も無かったが、取得後は保存期からの関わり的重要性や、患者及び保存期治療への理解が深まっていると考えている
217	東海大学医学部附属八王子病院	診療報酬改訂に伴い腎代替療法選択支援に点数が付き実施する上でモチベーションが上がった。上司や周りのスタッフからの評価も上がった。
218	医療法人社団紘和会 平和台病院	糖尿病腎症だけでなく、CKD及びDKDの患者さんへ、今までよりも自信を持って対応できるようになった。また、患者さんへの説明で、より根拠をもって具体的に説明しあげられるようになった。
219	春回会 井上病院	少しではありますが腎臓病カンファレンスに参加して患者さんに関わるケースもあった。
220	信楽園病院	積極的に多職種と連携を取りチーム医療を意識するようになった。
221	富山県高岡看護専門学校	自信を持って指導できるようになった
222	しげい病院	講師として講演した 回復期リハビリテーション病棟とCKD外来の連携の立ち上げに関わった
223	川崎市立多摩病院	早期からの関わりが重要であると感じ、現在準備中の新たなCKD外来の指針に影響したと感じる。
224	聖隷横浜病院	知識が増え指導にいかせた。患者が関心を持ってくれたり信頼関係の構築につながった。腎代替療法を選択しないという方法も私が受け入れられ、医師にも患者の意思を代弁したりと患者の意思を尊重できるようになっている。
225		より専門的知識が増えたことで、患者に説明できる内容が増えた。腎臓病教室の説明内容の見直しをすることができた。
226	金沢市立病院	受験にあたり学んだことを自信を持って指導に活かせるようになった。
227	公立小浜温泉病院	保存期の患者の外来時に、循環器医師や腎臓内科医師から依頼があった時に療法選択の説明に行く。
228	松下記念病院	積極的に患者に関わるようになった
229	松下記念病院	活動範囲の拡大、患者さんとのコミュニケーションに変化が生じて、関係性がより深いものとなった
230	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院	保存期生活指導や療法選択説明でより具体的に指導するようになった。また、静岡県腎臓病療養指導推進会を立ち上げ、他職種との連携が図れるようになり、自施設のみでなく、地域のクリニックや薬局、行政との連携を意識するようになった。
231	国立病院機構 東広島医療センター	知識・意欲の向上。説明する際の自信にもつながった。
232	飯田市立病院	施設で関わるスタッフ複数が共通の学びをすることで、時代錯誤が改善し、患者指導がバラバラでは無くなった。
233	玉川病院	セミナーで得た知識が生かせる。薬剤のことは薬剤師に任せていましたが気をつけて内服についてもみるようになった。
234	藤枝市立総合病院	指導目標が明確になった。根拠ある指導が行えるようになった。
235	平塚共済病院	発信力になっている
236	高知大学医学部附属病院	腎機能の確認が増えた
237	静岡県立総合病院	地域との連携が必要と考え、他施設のスタッフも交えて腎臓病療養指導推進会を立ち上げた。地域では薬剤師が直接患者と関わる機会があり活躍が期待できると考えます。地域で行われる保健師による腎臓病教室にも期待できます。地域で関心が深められるようにしていく必要があると考えます。
238	真生会富山病院	責任を持った情報提供を心がけている
239	なかしま内科・糖尿病・腎クリニック	知識がふえ、患者にその知識等を生かして関わる事ができている。また糖尿病専門の医師からもCKD患者の相談をされるようになった。
240	翔南病院	管理栄養士、薬剤師間で、情報交換を取る様になった。
241	総合病院 山口赤十字病院	外来で保存期からの関わりを深め、療養指導が行え、急激な増悪を防げる。患者がステージ5となり治療選択した後も、看護師の顔見知りが増えたことにより、患者は安心感が得られやすい。
242	長崎みなとメディカルセンター	患者さんへの療法選択支援の話の内容が、患者さんの生活背景や思いを中心に考えるようになった。
243	鳥取赤十字病院	自信を持って関わりやすくなった、疑問があれば多職種に相談しやすくなった、少し責任の重さも感じる
244	名古屋第二赤十字病院	データをベースに話をするようになった
245	株式会社サードステージ	医療施設の枠だけではなく地域として塩分制限を発信する行動、例えば塩分を控えたラーメン店を推奨するような地域教育活動が必要だと思う
246	医療法人 仁栄会 島津病院	患者さまと話すだけという診察報酬の取れない行為であるが、それが結果に結び付けることができるという理解が得られた。患者さまの個々の問題へ取り組みが出来るようになり、その為の自身の学習の機会が増えた。プロ意識が増した。

腎臓病療養指導士を取得して自身のCKD看護に変化ありましたか？【ある場合】

番号	施設名	ご意見
247	JA広島総合病院	自信が持てた
248	日本大学医学部附属板橋病院	基本的知識の習得

腎臓病療養指導士を取得して自身のCKD看護に変化ありましたか？【ない場合】

番号	施設名	ご意見
1	トータルケアライフ株式会社	取得後、看護実施する機会がまだないため。施設外の腎臓病療養指導士との情報提供では、刺激をうける。
2	社医)石心会 川崎幸病院	自分自身が透析看護認定看護師なので、看護としての新たな変化はなかった。
3	公立松任石川中央病院	管理業務となり実践の場が少なくなった
4	四日市腎クリニック	以前から取り組んでいるため
5	メディカルサテライト岩倉	何も変化ないから。
6	医療法人尚腎会 高知高須病院	資格取得後、配置異動があり、CKD看護にたずさわる機会が減り残念に思う。
7	岡山大学病院	取得前からCKD～腎不全保存期～導入期とかかわっていることで特別な変化はない
8	埼玉医大総合医療センター	病院としてとれとれといってくる割(●)にはとってから、何の仕事も与えられていない
9	奈良県西和医療センター	CKDチームの一員として指導している。
10	東京都済生会中央病院	特に看護への変化はありません
11	埼玉医科大学病院	部署を希望なく異動されるので、CKD看護にあたれないことが多い。
12	関西医科大学総合医療センター	以前より透析センター内で、腎代替療法選択支援をしていた。
13	東邦大学医療センター大橋病院	以前より認定Nsとして実践しているため
14	埼玉医科大学病院	腎臓病療養指導士としての仕事ははっきりしていない もっと保存期にたずさわれると思ったが全くこの資格を通してかかわっていない
15	医)清流会 双樹クリニック	外来保存期の患者様がほとんどいないため
16	近江八幡市立総合医療センター	糖尿病看護認定看護師として、腎臓病療養指導士の資格を取得する前から、療養支援を行っているため
17	岡崎市民病院	指導の際に他の看護師と有資格者で見た目など指導内容の違いが見当たらないから。
18	尾原病院	全く活動できていない 病院が理解不足
19	公立藤岡総合病院	業務として実用としていない
20	医療法人社団 望生会 泉が丘内科クリニック	外来業務の短時間で関わることが多く、十分な療養指導ができていないと感じているから。
21	公立甲賀病院	資格を取得前後で何も変化がなかった。
22	十和田市立中央病院	CN活動として実践しており変化なし
23	飯田市立病院	その資格が活かされる現場ではない
24	奈良県立医科大学附属病院	特に意識しない
25	偕行会セントラルクリニック	以前から保存期の指導が重要とっており、実践して来た。
26	東京都済生会中央病院	診療報酬に関与がないので、施設では個人の資格としか思ってもらえない。
27	医療法人仁聖会西尾クリニック	ckd看護ができる環境ではないため。
28	愛仁会高槻病院	役割は変わっていない
29	藤枝市立総合病院	資格取得前から透析予防外来を行っていました。自分の問題ではありますが、講習会を受講した際の知識がまだ十分に生かせていないと感じます。施設によって指導の進め方や使用している資料が違うと思うので、ビデオ研修やWEBセミナーが充実してもっと情報を得やすい環境になればと思います。
30	しゅうわ	給料にも業務内容などにも変化はない
31	東京医科大学八王子医療センター	資格取得前から病棟のスタッフ教育や患者教育に関わっており、改めて何か変わったことはない。また、COVID-19患者対応となったため、今は腎臓病に関わっていない。
32	社会医療法人 明石医療センター	実践していたが、部署異動があり、実際に自分が支援できない。資格を取ったが生かせることができていない。
33	岡崎市民病院	病棟移動したため、患者と関わらなくなった
34	岡山済生会総合病院	いままでと特にかわりなし
35	恵仁会 三愛病院	もともと慢性腎臓病療養指導看護師の資格を取得していたので看護の面では変化はないが、腎臓病療養指導士の資格を取得し教育入院という新しく指導する場所を設けることができた。
36	聖路加国際病院	以前より患者指導、教育に関わっており他資格を取得しているため変化はなかった。
37	高知高須病院	元々管理的役割であり指導実践の機会がなく、職員教育指導を主としているため
38	奈良県立病院機構奈良西和医療センター	以前から取り組んでいた
39	社会医療法人 友愛会 友愛医療センター	以前よりチーム医療で対応していた
40	JCHO千葉病院	CKD指導にあたっていないため
41	杏林大学医学部付属病院	透析看護認定看護師を取得するなど、自己研鑽していたため。
42	社会医療法人明和会中通総合病院	認定看護師を取得していたため、大きな変化はなかった。
43	香芝生喜病院	周囲との温度差を更に感じた。
44	千葉県循環器病センター	これまでと同じように透析予防指導を行っている
45	愛知県赤十字血液センター	看護の対象が献血ドナーになったため
46	山陰労災病院	他の資格で対応できていた
47	足利赤十字病院	慢性腎臓病療養指導看護師を習得する過程で変化しましたが、今回で何も変わらなかった。病院から資格を習得する過程で何も補助はなく、講習も試験も自分の休みを使って行きました。資格習得後は、資格手当もなく、監査やJCI時に役割だけ増えて行きます。そのような現状を見ている若い人は次に続いていきません。
48	JCHO熊本総合病院	資格取得していても、腎と関係ない部署に勤務異動となった
49	JA愛知厚生連 海南病院	認定看護師の資格取得しているため
50	公益社団法人地域医療振興協会 公立丹南病院	他資格を習得している
51	大分赤十字病院	業務内容に変化ない
52	国保旭中央病院	実施する事は、変わらないから
53	東京都保健医療公社豊島病院	資格取得後、すぐにコロナ病院となり、CKD看護に関わっていないため。
54	藤沢市民病院(R3年3月31日まで)	多忙でなかなか活動できない状況があった
55	東京医科歯科大学医学部附属病院	部署が変わったため
56	仁生社 江戸川病院	もともと行っているから
57	公益財団法人法人田附興風会医学研究所北野病院	現在他部署に異動になったため
58	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院	自身の知識取得の機会とはなっているが 実際に資格を活用する機会や制度がない。動きも、今一つ見えない。
59	十三市民病院	腎臓病の患者がいない。

腎臓病療養指導士を取得して自身のCKD看護に変化ありましたか？【ない場合】

番号	施設名	ご意見
60	松本市立病院	仕事上資格が必要とされていないことがある
61	愛媛県立中央病院	他科、他部門への配置がえとなり、介入する機会がなくなった
62	広島赤十字.原爆病院	部署が変わると活動しにくい
63	北里大学病院	資格取得前後で環境やインテンシブ等変化はない、継続してCKD看護を実践している
64	医療法人あかね会 土谷総合病院	元々腎代替療法選択に関わっていた
65	春日部内科クリニック	主要な勤務場所が透析室が多く、継続的に外来患者と接しないため
66	明石医療センター	DLN取得しており、あまり役に立たない
67	医療法人南里泌尿器科医院	他の業務併用のため時間を割けない
68	相澤病院	活動の場が設けられない。
69	生駒市立病院	DNLの資格を持っているので、活動としてはかわらない。診療報酬で、加算が取れると、病院が力を入れてくれると思う取得しましたが、加算が取れないし、腎臓病療養指導士との集まりや、勉強会などもないので、何をしたらいいのかわからない。
70	医真会八尾総合病院	腎臓内科の退職により、活躍の場が無くなった
71	近江八幡市立総合医療センター	資格を習得する事で、自身の知識の確認をした。
72	増子記念病院	前と行っていることに変化がないため
73	小牧市民病院	以前から慢性腎臓病療養指導看護師として保存期指導も実施していたため。
74	松波総合病院	現在、病棟師長となったため、手が回っていない
75	安城更生病院	十分活用できていない
76	高石藤井病院	知識・技術の習得や活用に関しての状況は同様。大きな変化はない
77	長野中央病院	透析室の勤務でCKD患者と関わることがない
78	(株)日立製作所日立総合病院	もともと慢性腎臓病療養指導看護師を取得していた
79	大分県厚生連鶴見病院	やりたい事はあるが、なかなか出来ない。昨年くらいまでCKDチームにも入っていなかった。
80	国民健康保険 小松市民病院	研修を受講し知識の向上により、患者へその知識をもって還元できる幅が広がったと感じている。しかし、資格取得以前よりCKDサポート外来を多職種と連携し実施していたため看護に変化があるとは言いがたい。有資格者が関わることで診療報酬に反映されれば、看護師自身もやりがいを感じ、施設側からの資格取得への支援が受けられる可能性もあり、資格を取得したいと思う看護師も増えるのではないと思う。現在は資格を持っているという自身の思いにとどまっている。
81	水戸済生会総合病院	以前から変わらず行っていることの継続だから
82	岡山大学病院	元々、体制が整っていたこともあるため、自分の看護自体に変化はなかった。病院としてのCKD看護体制を改善したい思いはあったが、病院内での腎臓病療養指導士としての位置付けは特になく、いちスタッフと変わらない。そのため、異動を余儀なくされ、今後の活動についても不透明。現在のCKD看護体制を引き継ぎ守っていくのが精一杯。
83	大分県厚生連鶴見病院	取得しても部署が違くと指導に携わることができない。